

Mマガジン・サポーター (店舗情報の詳細は「音楽好きな友の会」公式サイトにてご確認ください)

●公共機関

・区役所	中原区役所5Fなかはらっぱ	中原区小杉町3-245 Tel.044-744-3113
・会館	川崎市国際交流センター	中原区木月祇園町2-2 Tel.044-435-7000
・会館	川崎市生涯学習プラザ	中原区今井南町28-41 Tel.044-733-5560
・会館	かわさき市民活動センター	中原区新丸子東3-1100-12 Tel.044-430-5566
・郵便局	川崎井田郵便局	中原区井田中ノ町25-1 Tel.044-766-9724
・郵便局	川崎プレーメン通郵便局	中原区木月1-31-5 Tel.044-455-1800
・郵便局	川崎木月郵便局	中原区木月住吉町11-12 Tel.044-411-9800
・郵便局	川崎木月大町郵便局	中原区木月大町11-27 Tel.044-722-3617
・放送局	かわさきFM	中原区小杉町1-403 武蔵小杉タワープレイス Tel.044-712-1791
・推進協議会	「音楽のまち・かわさき」推進協議会	幸区大宮町1310 ミューザ川崎セントラルタワー5階 Tel.044-544-9641

●元住吉西口(プレーメン通り/井田中ノ町商店街通り)

・音楽教室	SouleaveMusic School	中原区木月伊勢町10-1三起ビル302 Tel.044-750-8992
・鉄板焼	ゆうき亭	中原区木月1-28-16 Tel.044-434-6999
・ヘアサロン	キャメルヘアーデザイン	中原区木月1-32-10 中嶋ビル1F Tel.044-872-7375
・カフェ	水谷珈琲	中原区木月1-32-16 1F Tel.044-577-4288
・果物	フルッコ	中原区木月1-35-1 Tel.044-433-3338
・パン	リップル	中原区木月3-10-20 Tel.044-863-6554
・コーヒー専門	MUI	中原区木月3-13-2 Tel.044-767-1368
・イタリア料理	オステリアボッカーノ	中原区木月3-17-16 新井ビル1F Tel.044-411-1003
・音楽教室	島倉 学ミュージックスクール	中原区木月3-35-1ART FLATS B1F Tel.044-567-5940
・音楽教室	有隣堂日吉センター	中原区木月4-31-7 Tel.044-411-5701
・コインランドリー	マンマチャオ元住吉店	中原区井田中ノ町4-1 ミンアッシュ Tel.0120-027-217
・理容室	Hair Salon Airs	中原区井田中ノ町5-3 関根ビル1F Tel.044-755-0273
・接骨院	井田名倉堂・栗山接骨院	中原区井田中ノ町6-27 Tel.044-766-0850
・ヘアサロン	波照間	中原区井田中ノ町8-1 Tel.044-797-5692
・デザイン制作	アルケファクトリー	中原区井田中ノ町8-43 Tel.090-4362-5413
・カフェ	フレストコーヒー	中原区井田中ノ町33-1 Tel.044-754-1156
・時計・貴金属	つたどけてん	中原区井田中ノ町33-2 Tel.044-766-6022
・不動産	福街不動産	中原区木月祇園町12-1 Tel.044-750-0409

●元住吉東口(オス商店街通り)

・介護センター	みずたま介護ステーション元住吉	中原区木月2-2-3 マノンミール元住吉 Tel.044-430-6963
・お茶	金子園	中原区木月2-2-36 Tel.044-411-5877
・鍼灸院	和式整体&整心の「響」	中原区木月2-3-35 住吉名店センター401 Tel.044-433-2880
・Cafe+Cake	Baloo(バルー)	中原区木月2-7-8健庄ビル1F Tel.044-789-9625
・介護センター	ソウキ	中原区木月2-8-5MKビル1-B Tel.044-431-0027
・古本・CD	凸と凹と	中原区木月2-10-3
・調剤薬局	網島街道薬局	中原区木月2-16-10 Tel.044-750-0374
・イタリア料理	自在屋	中原区木月4-10-6 Tel.044-433-5644
・STEAK	ステーキグラム元住吉店	中原区木月住吉町7-7 Tel.044-433-4129
・音楽教室	PCK Music Studio (桂 宏美ヴォーカル教室) 中原区木月住吉町21-5 鈴木ビル3F-D Tel.070-5597-2230	
・ライブハウス	パワース2	中原区木月住吉町21-5 Tel.044-455-0007
・音楽教室	Studio An(スタジオ・アン)	中原区苅宿4-48 Tel.045-312-3146(横浜アオハ楽器)

●元住吉近郊

・喫茶室	シンフォニー	川崎市幸区矢上11-1 Tel.044-599-3499
------	--------	------------------------------

●武蔵小杉近郊

・紅茶専門店・喫茶室	Tea House ロースマリー	中原区小杉町3-70-4 ホーユウパレス1F Tel.044-733-1076
・蕎麦店	そば あざひや	中原区小杉御殿町2-42-7 Tel.044-722-1768
・珈琲店	Cafe TEMO(テモ)	中原区上小田中6-1-5 Tel.044-755-8234
・喫茶店	Coffee Spot Life(ライフ)	中原区上小田中6-22-13 Tel.044-722-0024
・喫茶店	ショップカフェハット	中原区新城1-16-12 Tel.044-788-0116

●元住吉外郭・他

・調剤薬局	胸沢通り薬局	東京都目黒区中央町2-40-8 Tel.03-6412-7318
・写真	PHOTO SHOP 銀嶺	東京都港区六本木7-8-4 Tel.03-3408-5406
・レストラン&バー	Public House びあにしも	川崎市小川町16-15ヒロサビル103号 Tel.044-201-1668
・調剤薬局	オレンジ薬局川和町店	横浜市都筑区川和町1218-1F Tel.045-929-1005
・カフェレストラン	カンファーマ・ツリー	横浜市中区海岸通1-1 横浜貿易協会ビル Tel.045-211-2200
・ジャズ喫茶	マッシュロ	横浜市中区山下町214 巴里堂ビル2F Tel.090-2202-3294
・八百屋	八百屋ジャズ	東京都世田谷区等々力2丁目16-14 Tel.03-3701-3860

●宮城県仙台/群馬県

・カフェ	Antique cafe OLD TIME	宮城県東茅渚市高崎2-16-3 Tel.022-309-6728
・音楽教室	PCK Music Studio 大泉スタジオ	群馬県邑楽郡大泉町坂田5-21-6 Tel.070-5597-2230



A Free Magazine that Promotes Regional Revitalization through Music

Mマガジン
2022年11月16日号
2022年10月16日発行
(毎月16日発行)
第93号
発行・編集：塚田親一
編集：藤田順治 / 大場明弘
発行：音楽好きな友の会
川崎市中原区木月2-21-32
TEL 090-9398-2889
2022-10-16-800 Printing RK

▲上記、サポーター記事は無料です。

Mマガジン

●Motosumiyoshi●Music●Mate●Meet●Memories

音友レコード倶楽部 レコードコンサート合同開催中 Light Music 「軽音楽ファンの集い」 Jazz Date 「ジャズファンの集い」

11月3日(木・祝)

13:15開場 / 13:30開演
参加費：¥1,500
川崎市国際交流センター
レセプションルーム



Photo: Yoshiro Yasuda

元住吉の気軽な音楽会



2022
11
November

若林かおり(わかばやしかおり)：
ラジオパーソナリティ、インタビュアー、MC。
静岡県出身。取材先では「君だなんて話せちゃうよ」とよく言ってもらえます。大切にしていることは、等身大の自分で表現すること。かわさきFMの毎週金曜日午後3時から生放送「かわさきDOWNSTREAM」パーソナリティを担当、お便りもお待ちしております。最近では一人旅にはまり、初めての景色や電車にワクワクしています。食べること飲むことも大好きです。

連載38 **そして音楽の旅は続く
え？彼女のお父さんはNat King Cole!**

あの日、最初から一夜限りと考えていたJAZZ LIVEでした。でも終えてみると充実感と同時に、出来ない唄の悔しさがふつと湧いてきました。そんなところに故ユミ・マーシーさんが耳元で囁きました「次回はいつにする？」。ユミさんはベテランのボーカリストなので、私の悔しい心の内をお見通しでした。そして再チャレンジすることにしました。さて、まずはジャズボーカリストの王道を聴き込もう。勉強になる大御所をユミさんに教えてもらいました。Billie Holiday(ビリー・ホリデイ)、Ella Fitzgerald(エラ・フィッツジェラルド)、Sarah Vaughan(サラ・ヴォーン)、Carmen McRae(カーメン・マクレエ)。しかしながら、難し過ぎてお手上げです。そもそも曲も知らないのに、各々がこんなに自由に唄われては謎が深まるばかりでした。そこで思い出したのですが、昔、私がYAMAHAに所属していた時にポップスシンガーだったNatalie Cole(ナタリー・コール)が東京音楽祭出演のために来日しました。彼女は歌唱力抜群のポップスシンガーだけど、今はJAZZを唄っていると聞き、大急ぎで彼女のCD「Unforgettable」を買いました。いや〜ホッとしました。JAZZを唄うって

難しかったけれど、Natalieのスウィリした表現なら勉強にもってこいでました。JAZZへの入口は人それぞれだと思いますが、私にとってNatalieは数居が低いと感じられる、最高の入口でした。そしてお恥ずかしいお話ですが「え？彼女のお父さんはNat King Cole(ナット・キング・コール)っていうジャズボーカリストなんだ〜!」と知って、今度は男性ジャズボーカリストを聴き始め、その後は果てしなく地引き綱を引くようにジャズの世界が広がっていきました。再チャレンジLIVEは、1回目よりはましかなあという程度でしたが、その出来映えよりも再チャレンジをするために、ジャズボーカリストというものに真剣に向き合うきっかけになったことが何よりも大きな収穫でした。

じつはこの時期、私は長く続けてきたスタジオワークに限界を感じていました。そこに降って湧いたようにJAZZ LIVEとの出会い、深く解らなくて手強いのに、猛烈にゴキゲン!! 私はスタジオワークを辞めてLIVE活動をスタートせずにはいられませんでした。ジャズクラブにほとんど行ったことがなかったけれど、幸運にもミュージシャンたちがいるんなお店に連れて行ってってくれてLIVE活動がス

ジャズボーカリスト
星乃けい
official website
https://www.hoshinokei.com

タート出来ました(本当にありがと〜!)
シンガーソングライターだった若い頃、目の前でお客様が私の唄を聴いてくれ、握手をしたりして確かに交流がありました。その後は長い間スタジオワークという裏方の仕事だったので、もう二度とお客様の前で唄う事は無いと思っていました。それがJAZZに出会ったおかげで、また人前で唄うようになり、人と人が触れ合う素敵な場所に戻ることができました。LIVEって最高に楽しい〜!



2005年12月14日、ジャズシンガーとして待望のリーダーアルバム「IN EARS OF YOU/星乃けい」、2006年12月20日「IN A SENTIMENTAL MOOD/星乃けい」をLP、CDでリリース。オーディオファン、ジャズファンから高く評価される。

音友レコード倶楽部PR動画!
「音友レコード倶楽部」を
わかりやすく説明したPR動画を是非ご覧ください。

島倉 学ミュージックスクール
驚くほど歌い方が上達する
「島倉 学メソッド」
歌が人生を変える
音楽は決して貴方を裏切らない

島倉 学ミュージックスクール
プロ志望専門ヴォイス・トレーニング
30分無料体験レッスン実施中!
【レッスンスタジオ】元住吉駅西口 徒歩5分
島倉音楽スタジオ
〒211-0025 神奈川県川崎市中原区木月3-35-1 ART FLATS B1F(106F)
【お問い合わせ】
島倉音楽事務所
代表 島倉学 営業日：火曜〜土曜 12:00〜21:00
定休日：日曜・月曜
TEL 044-567-5940 Mail: info@ms-music-school.com
HP: http://www.ms-music-school.com/

川崎市国際交流センター

災害時ボランティア養成セミナー

川崎のまちに暮らす住民同士のコミュニケーションが災害時に大切です。日本語が母語ではない外国人住民とのコミュニケーションに役立つ「やさしい日本語」を実践的に学びます。
●日程：11月26日(土) 14:00~16:00
●会場：川崎市国際交流センター
●参加：無料 ●定員：30名(先着順)
●対象：災害時ボランティアに関心のある方
●申込：HP申込フォーム



●お問い合わせ
川崎市国際交流協会
TEL 044-435-7000
FAX 044-435-7010
E-mail:kiankawasaki@kian.or.jp
ホームページ https://www.kian.or.jp
川崎市中原区木月祇園町2-2
元住吉駅から徒歩10分



川崎市生涯学習プラザ

第118回 ランチャタイム・ロビーコンサート

●新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となる場合があります。
●日時：2022年11月17日(木)
12:00開場/12:10開演/12:40終演予定
●場所：川崎市生涯学習プラザ ●料金：無料
●出演：松丸あをい/小型ハープ弾き語り



●予定曲目
・「いつも何度でも」
・「もののけ姫」
・「庭の千草」
・「旅愁」
・「あわて屋」
・「この道」
・「ムーン・リバー」
・「フライミートウザムーン」
・「オンブラ・マイ・フー」(ヘンデル)
・「アヴェ・マリア」(グノー)
・椿姫より「乾杯の歌」(ヴェルディ)

●お問い合わせ
(公財)川崎市生涯学習財団
総務係
ロビーコンサート担当
TEL 044-733-5811
E-mail:concert@kpal.or.jp
川崎市中原区今井南町28-41
【来場の注意】
マスク着用、連絡先記入、検温、入場制限がござります。

音楽好きな友の会(音友会)

11月のレコード倶楽部は「ゴジラの日」

昭和21年に日本国憲法が公布された「文化の日」であり、「ゴジラの日」でもある。音楽は印象的なイントロから始まる伊福部昭作曲の勇壮な曲だ。「ゴジラ」を製作した東宝により昭和29年のこの日、怪獣映画「ゴジラ」の第1作目が封切られた事から「ゴジラの日」になった。県内では横須賀の「くりはま花の国」の巨大ゴジラ像が有名。どなたか「ゴジラのテーマ」をお持ちでしたらご持参願います。

●開催日時：11月3日(木・祝)
開場:13時15分/開演:13時30分/閉会:16時30分
●開催会場(160名収容会場を使用)
国際交流センター・レセプションルーム
※ソフトドリンク等の持ち込み可
●参加費：1,500円 ※高校生以下¥500
※ 次回12月は会場の都合で中止になります。詳細はHPをご覧ください。

軽音楽とジャズを聴くプログラム

Light Music(軽音楽ファンの集い) ●担当：藤田 順治

ジャズのスタンダード曲をボサノヴァで



秋が深まるとなぜか聴きたくなるボサノヴァ。そのボサノヴァのミューズと呼ばれていたナラ・レオン。その歌声はボサノヴァ独特の語りかけて暖かく包み込む様な声です。彼女が幼少期に好きだった映画音楽の影響によりジャズのスタンダード曲を全曲ポルトガル語で歌った2枚のアルバムよりピックアップして聴いていきます。

▲Onde E Quando(いつかどこかで) / Nara Leao

Jazz Date(ジャズファンの集い) ●担当：大場 明弘

ベニー・グッドマンの15年(1935~'49)



スイング時代はベニー・グッドマン楽団のデビュー(1935年)と共に幕を開けました。グッドマンの軽やかで明るい音色、テクニクのあるクラリネットとフレッチャー・ヘンダーソンのアレンジで一気には人気バンドになりました。レギュラーのビッグバンドを解散する1949年までの15年間をアレンジ/バンドシンガー/コンボの3つの視点で聴いていきます。

▲Complete Benny Goodman Vol.2/Benny Goodman

連載26 団塊じいのジャケ買い遍歴

好きにデザインさせてもらった歌詞カード

神山 昇



遠藤ミチロウ ENDO MICHIRO

▲遠藤ミチロウ 50 HALF(1995年) 当時、渋谷のライブハウス「APIA」のオーナーがプロデューズ、「北極バクテリア」というダンス・レーベルで発売していたと今となっては確かではないが記憶にある。

1970年代の後半だったろうか、友人がオーナーの渋谷のライブハウに「お前が好きそうなライブがあるから、たまには顔出せよ」と招待された。

会場は満席で立ち見だった。「日本のパンク・ロックの顔だよ」と耳元で紹介があった。パンク・ロックといえばセックス・ピストルズが過激な歌詞を撒き散らす激しいロックで、僕は頼もしいバンドとして聴いてはいた。

歌がはじまった。「お前らの貧しさに

乾杯」続いて「飯食わせろ」を連呼…。観客は総立ちで飛び跳ねて。

いつものことだが僕は飛び跳ねられない。決して嫌な音楽ではない、むしろ当時の自分の気持ちを代弁してくれてるとすら感じていたが、それとこれとは別な問題だ…。話はそれだが、それからだ。いふ経って確か30代になった頃、出版社から「これあなた、得意でしょう」と本の装丁の話があった。「嫌ダツと言っても愛してやるぞ! 遠藤ミチロウ」のエッセイと写真のムックである。ついでに編集も手伝えとあって大胆な割付を試みた。それから、まただいふ時を経てあのライブハウスのオーナーからCDのジャケットデザインを頼まれた。

「遠藤ミチロウさんだよ、あのスターリンの…」ザ・スターリンは解散。その後、ソロプロジェクトを始動、ライブ活動を展開していた。そして戦後50周年をテーマとしたCDとのことだった。

CDのジャケットは昔のLPジャケットに比べてあまりにも小さすぎる。店頭で手を取るサインとしてのデザインをメインとすると語りかけるイメージのやり場がない。そこで「費用は持つから、歌詞カードを好きにやらせてもらえないか」と提案してみた。すると、快諾。しかも費用はあくまでもレコード会社が持つ。

歌詞カードのデザインは、試行錯誤した。広告と違い購入したファンに対してのメッセージであるから期待を良い意味で裏切りたいと考えた。



手前味噌だが、インパクトは出せたと思う。実は遠藤ミチロウ氏に色々関わったものの、いつもすれ違いで口を聞かずのまま彼は先立ってしまった。それが何よりも心残りであった。このCDは、今でも忘れられない。

連載02 太鼓叩きのよもやま話

キューバでのつれづれ

藤橋 万記

こんには。パーカッションの藤橋万記(ふじはしまき)です。今月は、キューバ音楽、ラテンパーカッションにのめり込んでいくきっかけとなった、キューバでの体験を少しお話しさせていただきます。

私の周りのミュージシャン仲間にも、仕事では色々なジャンルの音楽に携わりつつも、大事にしている国やジャンルを1つ持っている、という方が多いのですが、私はそういう話題になったとき、迷わず「キューバ」と答える事が出来ます。

初めてキューバを訪れたのは、まだ学生だった、2001年。学校を1ヶ月休んでキューバへ行きました。その旅が初めての外国でもありました。首都ハバナは、すぐそこに海岸線が伸び、カリブ海に浮かぶ島国らしく、海からの風が湿度も帯び、古いアメ車のディーゼルエンジンの排気ガスも相まって、肌に纏わり付くような南国独特の少し重い、密度が濃いような、そんな空気というのを感じました。

到着してすぐ、何人かのパーカッションの先生に出会い、習いました。また、キューバでの生活は、夜はライブを梯子して観に行き、そんなライブ先で知り合ったパーカッションに、レッスンを打診して、レッスンしてもらうこともありました。トラディショナルなキューバの音楽にも、若者が奏でるフュージョンバンドにも、ジャズクラブで演奏しているバンドにも、もちろんサルサバンドにも、どんなシーンにも、コンガやボンゴ、つまりラテンパーカッション奏者が居ました。日本のライブハウスで、ピアノ、ベース、ドラムが当たり前のようになっている場所にも、パーカッション。それぞれライブで役どころや音楽へのアプローチなど色々で、それは本当に、パーカッションを学びたい私からすると、夢のような環境でした。

昼間はレッスンの梯子、夜はライブの梯子。そんな生活を音楽に溢れたキューバでは難なく送ることが出来ました。夜道を女性1人で歩いて大丈夫

夫なくらい治安が良いことも、キューバでの時間が快適に感じる要因だったと思います。1度、いつもより遅くなったので、滞在先の家まで歩ける距離でしたが、タクシーで帰ろうと思いついて、タクシーを待っていたのですが、ライブハウスの前に立っていた顔馴染みになっていたボーイさんに「どこまで帰るの?」と聞かれ住所を答えると、「歩ける歩ける」と笑われ、深夜2時過ぎているのに、笑顔で手を振って見送られたことがあります。それくらい治安の良い街なので、ストレス無く過ごせるのです。

さて、パーカッションのレッスン。色々なミュージシャンに習い、接しているうちに、キューバ人は、生まれながらリズム感が良く楽器が上手、という訳ではなく、子供の頃からアカデミックに音楽の教育を受けている、という事がわかりました。何度かキューバに通ううちに仲良くなった同世代のパーカッションで、マウリシオという人がいるのですが、彼のお母さんはピアニストで、彼の自宅に行くと、代わる代わるソルフェージュの授業を受けに来たり、ピアノのレッスンを受けにきたり、聴音の授業をやっていたり。これから音楽学校に進もうという子供たちでいっぱいでした。プロフェッショナルで活躍するミュージシャンは必ずそういった素養がありました。また、イラクレというバンドを率いたチューチョ・バルデスという世界的に有名なピアニストがいるのですが、そのチューチョのバンドのパーカッション、ジャロルディのレッスンでは、まず、音色の美しさを大事にしている。パーカッションのレッスンですが、シーンと静かな時間が流れて、「集中して音を探して」と。それまで、クラシックパーカッションを学んでいた私には、それまでの学びが無駄にならない、というか、クラシックパーカッションもラテンパーカッションも、分けて考える必要など無いのだ



藤橋 万記(ふじはしまき): パーカッション 横浜生まれ、千葉育ちのパーカussionist。キューバ渡航歴は10回。「歌心あるハッピーサウンド」がモットー。アフロキューバンとジャズをミックスさせた自身のリーダー作品「Got a Match」を2021年リリース。藤橋万記ショップサイトはこちら。 https://makiconga.stores.jp/

など思える、そんな体験でした。 ラテン音楽は、イメージ通りワッツと盛り上がりすぎてビートと音圧で楽しくなる一面ももちろんあるのですが、それだけではない面も沢山あるのだと知り、1度で良いからと思いついて足を運んだキューバですが、その後何度も通うようになりました。ここまで読んでくださり、ありがとうございました。また来月(***)



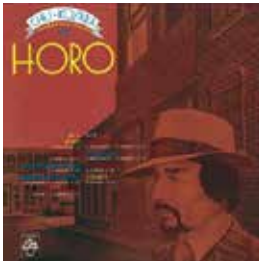
特別寄稿 Music Conversations 音友レコード倶楽部・音楽談義

J-popの金字塔アルバム、「ほうろう」

藤田 順治

楽しみにしていた 8月の音友レコード倶楽部は、コロナ感染の為、急遽中止となりました。8月に予定していた「ジャズのスタンダード曲をボサノヴァで」、「ベニー・グッドマンの15年(1935~'49)」のプログラムテーマは順延してお送りします。

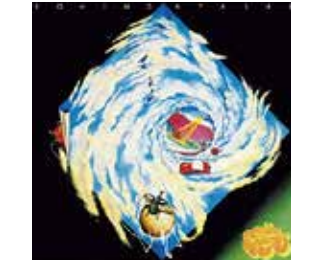
今回は当初、2020年12月に予定していたJ-POPの金字塔と呼ばれる「ほうろう/小坂忠」(写真①)というアルバムを全曲聴いていただきました。



▲①Horo/小坂 忠

皆さんに聴いていただく予定時期から今日までの間に小坂さんは長い闘病生活を送られた末、亡くなられました。ここにご冥福をお祈りしたいと思います。ここに2017年に発表された通算4作目のスタジオ・アルバムで以前、「エイプリル・フル」というバンドで一緒だった細野晴臣を共同プロデューサーに迎え、また「ティン・パン・アレー」のメンバーを筆頭に当時の名だたるミュージシャンを迎えて制作されたアルバムです。まだ、鈴木姓を名乗っていた頃の矢野顕子(Key)や元「シュガー・ベイブ」の山下達郎、大貫妙子や吉田美奈子がコーラス、松本隆が作詞家として参加しています。また、このアルバムの参加メンバーである細野晴臣、鈴木茂が在籍していた「はっぴいえんど」の曲で「氷雨月のスケッチ」、「ふらり坊」の2曲がリズムアレンジを変えて取り上げられています。もしかしら小坂さんもリードシンガーとして「はっぴいえんど」に参加していたかもしれないので考え深いものがあります。また、このアルバムを作成する以前に参加していた「小坂忠とフォーショー・ハーフ」時代の楽曲はカントリーロック色が濃かったが、本人はもっとサウンド面でもポップ、ロック、ソウルと広がりを持たせ、言葉に感情をこめて、絞り出すように歌っていたという事で必然的に生まれてきた作品だと言われています。その辺りはアルバムタイトル曲である「ほうろう」の歌詞の中でみごとに歌い上げられており、代表曲である「機関

車」や再度、その後自己のアルバムで取り上げた「ボン・ボヤージ波止場」なども含め、全体を通して時には何気ないメルヘンチックな歌詞をさらさらと歌ったり、また時にはソウルフルに歌い上げたり器用なシンガーという印象です。とにかくこのアルバムにはいろいろな方のバックでリズム等を支えてきた小坂さんにとって気が知れた当時の最精鋭のメンバーを集めてシンガーとして集大成的な1枚に仕上がっているという印象です。



▲②ゴールデン・ビクニックス / 四人囃子

持ち寄りタイムは「ゴールデン・ビクニックス/四人囃子」(写真②)より更に複雑なリズムとメロディーをかみ合わせた「なすのちゃんやき」、打って変わってゆったりとした「レディ・ヴァイオレッタ」から始まりました。四人囃子は日本では珍しいプログレッシブロック・バンドで今年、メンバーであった坂下秀実(Key)が亡くなられた事で取り上げたそうです。



▲③ほうろう 2018 SPECIAL LIVE/小坂忠

次にDJのテーマとしても取り上げた小坂忠が2018年3月5日に「ビルボードライブ東京」で開催された実況版「ほうろう 2018 SPECIAL LIVE/小坂忠」(写真③)より「流星都市」を聴かせていただきました。実際にアルバムを持参した方はその後、2018年11月26日に行われた一夜限りのスペシャルイベント「SONGS & FRIENDS 小坂忠「ほうろう」」を見に行かれたとの事でした。再び、私が参加させていただき、つい最近亡くなら

れた二人のピアニストを紹介致しました。1曲目はウォーレン・バーンハート「Ain't Life Grand/Warren Bernhardt」より「サラス・タッチ」、次にラムゼイ・ルイス「Les Fleurs/Ramsey Lewis」よりタイトル曲「レ・フレール」です。そして最後にイージーリスニング調の「That Midnight Touch/Bobby Hackett」より「ザ・タッチ・オブ・ユア・リップス」、「Music For Wives and Lovers/Nelson Riddle Orch.」より「恋はリズムに乗せて」そしてバスター・ボーンから始まるこれぞビッグ・バンドという「Larry Elgart And His Orchestra/Larry Elgart」(写真④)より「ハートイクス」を聴きました。



▲④Larry Elgart And His Orchestra/Larry Elgart

持ち寄りタイム最後は以前6月の音友レコード倶楽部で一部取り上げた「藤家虹ニクインテット」(写真⑤)で、藤家虹二さんのメンバー紹介から始まり、ちょうど50年前に録音されたものとは思えない迫力ある楽器本来の音が聞こえていた1972年大阪厚生年金会館におけるアナログ生録音会の貴重な音源を全曲聴きました。

藤家虹二のクラリネット、有近信彦のヴィブラフォンを中心に大変聴きごたえのある演奏でNHK朝ドラでよく流れていた「オン・ザ・サニー・サイド・オブ・ザ・ストリート」や「サマー・サンバ」など馴染みのある曲が次々と演奏され、これをもって本日の音友レコード倶楽部は閉会となりました。



▲⑤藤家虹ニクインテット

連載74 「くじら座」日記

芸術の秋

名曲は感覚で聴けるものだが、感覚だけでくれるものではない。時に「天才」と称される人ならば、意識せずとも名曲をつくってしまうものかもしれないが、大多数のミュージシャンにとって、曲づくりは「料理」と類似するものだと考える。いくつかの素材を揃え、調理順序を考え、炒めて煮て焼いて、味付けをし、盛り付ける。そして、お客様のもとへ運び、味わっていただけてから始まり、完結する。もし、一流レストランのシェフが「実は料理を学んだことがない」と言ったら、どう感じるだろうか? そんなに美味しいものであっても「味への信頼」はなかなか生まれにくいものである。

人の身体は、内部から勝手につくられるものではなく、外部から取り込むものによってつくられる。食べるものの質

が低ければ、身体は病魔に蝕まれる可能性が高くなるように、聴くものの質が低ければ、身体は不健康になる可能性が高いと言っても過言ではない。 一流はなぜ一流なのか? ということを突き詰めると、その答えは「一流に囲まれているから」といった要素が、強く影響していると言えるだろう。常に質の高いものを身体に取り込むことこそが、名手になる第一歩だ。

しかし、芸術の面白いところはそこから先だ。この世の最も汚いものを知り、地の底を這いつくばってきたような

牧野 憲人



人間から放たれる言葉の方が、皮肉にも名手より心に響くことがある。芸術の秋、今年は何んか芸術を身体に取り込むべきか、私は胸を高鳴らせながら秋の風を感じている。

連載-Take 17 「元住吉ミュージック・フェスティバル」は、街ぐるみで開催を! 塚田 親一

音楽好きな友の会(音友会)の地元の大行事が「元住吉ミュージック・フェスティバル(MMF)」の開催だ。

2019年「第1回MMF」の参加を機に、演奏家の皆さんが「地域、全国の音楽関係者をネットワークしよう!」と姉妹組織の「モットンクラブ」を発足させ盛り上がったところに、コロナの感染防止で「第2回MMF」は中止となった。

さて、3年の空白を埋めようといよいよ「第2回MMF」の準備が始まった。来年2023年4月開催を目標に実行委員会の立ち上げからスタートする。

この催事はMマガジンの読者、音友会の「お問い合わせ」から「応援スタッフ参加」をお願いする。

この催事はMマガジンの読者、音友会の「お問い合わせ」から「応援スタッフ参加」をお願いする。この催事はMマガジンの読者、音友会の「お問い合わせ」から「応援スタッフ参加」をお願いする。



▲2020年の第2回MMF開催中止となり、出演者の有志が川崎市国際交流センターホールに集合、記念写真を撮った。

ソウリーヴ・ミュージック・スクール Souleave Music School http://souleave-music.com/ 元住吉駅徒歩3分、武蔵小杉駅徒歩13分 チケット制 音楽教室 Tel 044-750-8992 レッソンは8:00~22:00開館迄、詳細は要連絡